

第三回定例会

公平委員に
山田氏を再任

〈公平委員会委員〉



さる九月九日に開会された第三回定例会で、公平委員会など四委員会の委員の方々が新しく選任を受けましたのでご紹介いたします。

(敬称略)

山田 宏男 錦町3 62歳

／主な経歴 昭和34年9月留萌港湾審議会委員、昭和45年5月留萌港湾福利厚生会館運営委員、昭和54年9月市公平委員、昭和58年9月同再任。

〈教育委員会委員〉



本間 孝平 沖見町3 63歳

／主な経歴 昭和55年3月留萌小学校校長を退職、昭和56年10月市選挙管理委員会委員を経て、今回教育委員に就任。

〈人権擁護委員会委員〉



石岡 幸子 港町2 55歳

／主な経歴 石岡漁業部専務留萌小学校PTA顧問、海洋少年団団長、昭和55年6月市人権擁護委員、昭和58年10月同再任。

〈固定資産評価審査委員会委員〉



梅沢 文敏 見晴町2 54歳

／主な経歴 昭和27年7月市職員、水道部長、民生部長、建設部長を経て、昭和58年7月総務部長、現在に至る。

国鉄留萌本線合理化で

礼受と藤山は
無人駅に

来年2月から実施



十月二十二日、赤字ローカル線第一次廃止対象路線・白糠線が全国のトップを切って廃止、バス転換をしました。そして、第二次廃止対象路線・留萌本線に新たに合理化計画が示されました。

鉄道管理局へ
三点の要望

旭川鉄道管理局は、さる九月二十八日、留萌本線(深川(増毛間)の合理化計画を発表しました。

旭川鉄道管理局は、さる九月二十八日、留萌本線(深川(増毛間)の合理化計画を発表しました。実施は、昭和五十九年二月一日からで、一般駅の留萌駅を除く十一の旅客駅(市内対象五駅)を停留所に降格する内容となっております。

その計画によると、第一に、現在の旅客駅を停留所にします。市内の対象駅は、礼受、大和田、藤山、幌糠、峠下で、各駅では、一般乗車券の販売は行いません。

また、礼受と藤山駅については無人停留所になります。第二に、手小荷物の取扱いは、峠下駅をはじめ全駅で廃止されます。留萌駅については、貨物のみを取扱います。第三に、コンテナの取扱いは、いままです留萌駅で行っていましたが、それも廃止になります。

以上、三点について要望しました。

さらに、重要港湾を持つ留萌市は道北の門戸として発展し、留萌本線は背後経済圏の動脈をなすものとして絶対に確保されなければならない。留萌本線の重要性を訴えました。